



## 『上を向いて歩こう』

作詞 永 六輔

作曲 中村 八大

上を向いて 歩こう  
涙が こぼれないように  
思いだす 春の日  
一人ぼっちの夜

上を向いて 歩こう  
にじんだ 星をかぞえて  
思いだす 夏の日  
一人ぼっちの夜

幸せは 雲の上に  
幸せは 空の上に

上を向いて 歩こう  
涙が こぼれないように  
泣きながら 歩く  
一人ぼっちの夜

思い出す 秋の日  
一人ぼっちの夜

悲しみは 星のかげに  
悲しみは 月のかげに

上を向いて 歩こう  
涙が こぼれないように  
泣きながら 歩く  
一人ぼっちの夜  
一人ぼっちの夜



ほんとうは、どうしたいの？

～未来に向かう気持ちを育てる～

副校長 髭白 梨香

先日、『ほんとうは、どうしたいの？』という絵本に出会いました。この絵本の主人公はねずみのミック。自分に自信がなく、友だちを遊びに誘えません。そこでミックは近くにあるものを集めて鎧のように身につけて、「みんなから すごいねっていわれるようになりたい」「かっこよくなりたいたい」と考えます。しかし、かえって友だちに敬遠されてしまいます。そのとき、ずっとミックを見守っていた太陽が、「ミックはどうなりたいの？」と問いかけます。ミックは自分のむねに手をあて、目をつぶってじっくり考えます。「ぼくは、みんなとなかよくしたかったんだ」「みんなと遊びたかっただけなんだ」と本当の自分の気持ちに気付いていくという物語です。

「これからどうなりたい？」「これからどうしたい？」などの問いかけは、「フィード フォワード」と呼ばれる手法の一つです。未来に目を向けることを手助けする、コミュニケーションの方法です。学校生活において、「なぜできなかったの？」「どうしたらよかったのか」と振り返りをする、いわゆる「フィードバック」的な思考も大切ですが、「どうなりたいか」「ほんとうはどうしていききたいか」と問いかけ、「フィードフォワード」の言葉かけをたくさんしていきたいと思います。そして、前向きに未来に向かって進もうとする姿を応援していけたらと思います。

学校は、人と人が学び合う場所です。学校生活において、友だちと上手に関われなかったとき、日々起こるトラブルを学びに変えていくためには、子どもたち自身が、対話を通して自分たちでトラブルを解決していく経験が必要です。私たち教職員は、時には子どもたちの声を通訳し、子ども同士がつながることで、安心して学べる環境をつくっていきたいと考えます。

本校は今年度、「チーム担任制」によるチーム協働体制の一層の強化に取り組んでいます。「自分のクラス」「となりのクラス」の潜在的な意識をなくし、「自分で（わたしが）」から「自分たちで（わたしたちで）」の意識改革を行い、A週・B週の「担任」交代を通して、「2人で2クラス」から広がっています。2人の担任が、「ほんとうはどうしたいの？」と「フィード フォワード」の言葉かけで、たくさんのつながりを強固なものにしていきたくて考えています。チームでいつも心を離さず、「チーム原小」だからこそ出来ることがあると確信しています。今後も、職員一同「明日も来なくなる学校」を目指し、取り組んでいきます。引き続き、本校の教育活動へのご理解ご協力を宜しくお願いいたします。